

採択年度	R1	R1	R1	R1	R1
企業名	SMBCベンチャーキャピタル株式会社	グローバルブレイン株式会社	静岡キャピタル株式会社	信金キャピタル株式会社	栖峰投資ワークス株式会社
HP	<a href="https://www.smbc-vc.co.jp/">https://www.smbc-vc.co.jp/</a>	<a href="https://globalbrains.com/">https://globalbrains.com/</a>	<a href="https://scc.shizuoka-fg.co.jp/">https://scc.shizuoka-fg.co.jp/</a>	<a href="https://www.shinkin-vc.co.jp/">https://www.shinkin-vc.co.jp/</a>	<a href="https://siwi.info/">https://siwi.info/</a>
VCの概要	SMBCグループ唯一のベンチャーキャピタルとして多様なエクイティニーズにお応えしています。三井住友銀行本店各部やSMBC日興証券等と連携し、成長分野に対するエクイティ支援、IPO支援を行っています。事業ステージや業種を限定せず、幅広い領域に投資をするベンチャーキャピタルです。	独立系ベンチャーキャピタルとして2001年よりベンチャーキャピタル事業を行っており、徹底的なハンズオンとスピーディで透明な投資により、ベンチャー企業と共に成長していく企業を目指しております。また多くの大企業とのネットワークを強みとして、CVC運営およびアライアンス構築支援も強みとしております	1996年の1号ファンド設立以来、母体行である静岡銀行の営業エリア(東京、神奈川、静岡、愛知、大阪)を対象に、株式公開支援等エクイティファイナンスを展開。	全国の信用金庫とともに中小企業の育成・支援を行う、信金中央金庫100%子会社のベンチャーキャピタル会社です。信用金庫、信金中央金庫と連携して企業のライフステージに即した質の高い中小企業向け投資育成・経営支援サービスを提供しています。事業承継・M&A業務も手掛けており、企業の課題解決に努めています。	栖峰投資ワークスは「公正」を理念に掲げ、シード～アーリーステージのスタートアップへ投資を行う独立系VCです。投資後は、バックオフィス体制の構築支援から新規取引先開拓支援まで支援先のボトルネックとなっている領域への重点的なフォローアップを通じて、その成長を支援しております。
属性	金融機関系	独立系	金融機関系	金融機関系	独立系
主な投資ステージ	全てのステージ	アーリー、ミドル、レイター	全てのステージ	シード、アーリー、ミドル、レイター	シード～アーリー
投資対象領域(業界等)	全ての業種	AI、SaaS、Commerce、Food Tech、Fintech/Blockchain、Robotics、Life Science、など次の成長産業となりうる領域へ幅広く投資をしております	全ての業種	対象業種は特定しておりません。但し、公序良俗に反する事業、風俗営業又は反社会的活動に従事もしくは関連する事業者は除きます。	オールラウンド
1社あたりへの投資金額(目安)	非公開	50～2,000百万円	10～100百万円	30百万円	10～100百万円
リードインベスターのスタンス	フォロワー投資家としての実績が多いですが、リードインベスターになる案件もございます。	主にリードインベスターとして投資し、積極的にボードメンバーに入り経営支援にコミットしております(案件によってはフォロワーインベスターとして投資させていただくこともあります)	静岡県内企業に対しては、リードインベスターを取るケースがあります。	ファイナンス・ラウンドにおいてリードVCの役割を基本的にはとっていませんが、単独投資の場合はファイナンス手続き全般および事業運営サポートのお手伝いをいたします。	リードインベスター・フォロワー問わず。
投資先への支援内容	投資先の経営支援に積極的に取り組み、一体となって企業価値向上を推進します。経営者との信頼関係を構築し、SMBCのネットワークを活かして投資先と大企業・人材・専門家との橋渡しに尽力します。	担当キャピタリストによる支援だけでなく、各領域のプロフェッショナルで構成される支援専門チームとも連携し戦略面からオペレーション、Exit支援まで幅広くサポートさせて頂いております	①投資先事業とシナジーのある取引先とのビジネスマッチング。 ②資本政策、上場スケジュール、上場審査対応等に関する助言。 ③取締役会へのオブザーバー出席等を通じた業績向上に向けた支援。	①事業計画・資本政策策定、金融機関との良好な関係構築等のアドバイス、②ファイナンス時のVC紹介、営業マッチングの事業会社紹介、③主幹事証券、監査法人、証券代行、証券印刷会社等との連携による上場サポート	リード:ハンズオン フォロワー:ハンズイフ
ポートフォリオ	【業種】サービス40%、IT30%、ライフサイエンス13%、製造・テクノロジー13%、その他4% 【ステージ】シード6%、アーリー35%、ミドル41%、レイター8%、創業系バイオ10%	国内、海外含め多数(詳細はHP参照) <a href="https://globalbrains.com/portfolio">https://globalbrains.com/portfolio</a>	<a href="https://scc.shizuoka-fg.co.jp/portfolio/">https://scc.shizuoka-fg.co.jp/portfolio/</a>	浜松市内の企業を中心にこれまで全29社(2024年6月末現在)に投資しております。	インゲージ、おてつたび、SPLYZA、キュービクス等20社
Exit実績	【IPO】2023年度7社、2022年度11社、2021年度14社	IPO)レアジョブ、メルカリ、ウェルснаビ、BASE、ラクスル、メドレー、Creema、gifteeなど多数 M&A)SMARTCAMP、Loco Partners、LUXAなど多数	1984年の創業以来、静岡県内企業を含め多数の株式公開を支援。	過去運営ファンド2本の投資先のうち30社が上場しました。2012年以降、投資対象を全国の信用金庫からの紹介先に絞っていますが、IPO・M&A含め、多数の投資EXITを迎えています。	2社(うちIPO1社)
備考				やらまいかファンド(通称)およびやらまいか2号ファンド(通称)を運営しています。組合出資者であります浜松磐田信用金庫様から投資候補先企業をご紹介いただいております。地域貢献に努めております。	

採択年度	R1	R1	R2	R2	R2
企業名	大和企業投資株式会社	合同会社リアルテックジャパン	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社	インキュベイトファンド株式会社	株式会社Kips
HP	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/">https://www.daiwa-inv.co.jp/</a>	<a href="https://untrod.inc/">https://untrod.inc/</a>	<a href="https://www.techv.co.jp/">https://www.techv.co.jp/</a>	<a href="https://incubatefund.com/">https://incubatefund.com/</a>	<a href="https://kips.co.jp/">https://kips.co.jp/</a>
VCの概要	大和企業投資株式会社は、1982年に創業したベンチャーキャピタルです。大和証券グループを中心とした広範なビジネスネットワークや長年にわたる投資経験・ノウハウを活かし、これまでに数多くの企業の成長・株式上場にご貢献してきました。	Untrodが運営する「リアルテックファンド」は地球と人類の課題を解決するベンチャーの支援に特化しております。私たちの投資目的は、本質的には価値を持っていても、環境のためにそれを発揮できない人を救うことです。本当に世界を変えたい強い想いと、それを可能にする技術を持つ人を応援します。	シリーズA前後のアーリーステージを中心に「新産業を創出し、社会に進化を持たす」ことを目指し、特定のテーマ・バズワードを追った投資ではなく、投資対象企業が社会に与える本質的な価値を見極め、幅広い領域に投資をしていく。	創業期特化の独立系VC。「Zero to Impact」をモットーに次世代の産業創出に資するスタートアップへの創業投資を行う。	【設立】2006年1月5日 【本社】東京都豊島区南大塚3-2-6 【資本金】62,355千円 【代表者】代表取締役 國本行彦 (JAFCO出身)
属性	金融機関系	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シードからレイターステージまで幅広く出資	シード、アーリー	シード、アーリー、ミドル、レイター	シード	シード・アーリー中心
投資対象領域(業界等)	対象外領域なし	研究開発型・ディープテック領域	特定のテーマは定めておらず、全領域が投資対象	宇宙・半導体など経済安全保障に関連する領域、グリーン・トランスフォーメーションに資する技術、エンターテインメントなど世界に進出しようとするコンテンツ・IPの新領域、国内の既存産業のAIトランスフォーメーション	全領域(業種・地域のフォーカスなし)
1社あたりへの投資金額(目安)	1社あたり数億円(※事業進捗に応じ複数回の投資可能性あり)	10~300百万円	100~1,000百万円	50百万円~300百万円	5~30百万円
リードインベスターのスタンス	リード・フォロとも可能	シード・アーリー期における投資では原則リードインベスターとしてハンズオン支援を行う方針です。	状況に応じてリード、フォロ対応可能	リードのみ	主にリード投資
投資先への支援内容	大和証券グループを中心とした広範なネットワークによる顧客候補の紹介及びビジネスマッチング機会の提供など。資金調達、上場準備を意識した財務面でのアドバイスなど。	資金調達や事業開発支援をベースに、知財戦略策定、組織設計・人材採用、広報・ブランディング、ものづくりに関する支援をBoosterとして提供しています。	経営的な支援のほかに、伊藤忠グループの強みを生かし、営業事業開発支援を積極的に実施	ハンズオンで全方面支援する。週次~隔週で経営会議を実施。HR/PR/ロビイングなどの機能的支援も行う。	事業計画や資本政策の立案実行支援 認定NPO法人インデペンデンツクラブのネットワークの活用
ポートフォリオ	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/portfolio/">https://www.daiwa-inv.co.jp/portfolio/</a>	QDレーザ(エレクトロニクス)、ispace(宇宙)、kyulux(新素材)、シンクサイト(バイオ)、チャレナジー(環境エネルギー)、AMI(医療機器)等	エンタープライズ、B2B、ヘルスケア、C向けサービス、ディープテック等 投資詳細はHPご参照: <a href="https://www.techv.co.jp/portfolio/">https://www.techv.co.jp/portfolio/</a>	アスエネ、ArkEdgeSpace, EV Motors Japan, SimpleForm, Leaner Technologies	シード・アーリー中心に21社(2024年7月末現在)
Exit実績	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/feature/ipo/">https://www.daiwa-inv.co.jp/feature/ipo/</a>	QDレーザ(2021年IPO)、ispace(2023年IPO)、QPS研究所(2023年IPO)	代表的な銘柄 メルカリ、ラクスル、クラウドワークス、ユーザーベース、ヤプリー、Retty、ケイファーマ、VRAIN Solution、MFS他多数	Sansan, メドレー, iSpace, GameWith, Caster, Jig.jp	【IPO】㈱ラクス(2015年12月9日マザーズ上場)、トビラシステムズ㈱(2019年4月25日マザーズ上場)、tripla㈱(2022年11月25日マザーズ上場)
備考					

採択年度	R2	R2	R2	R2	R2
企業名	JMTCキャピタル合同会社	株式会社デフタ・キャピタル	DRONE FUND株式会社	Beyond Next Ventures株式会社	株式会社Monozukuri Ventures
HP	<a href="https://capital.jmtc.co.jp/">https://capital.jmtc.co.jp/</a>	<a href="https://www.deftacapital.jp/">https://www.deftacapital.jp/</a>	<a href="https://dronefund.vc/">https://dronefund.vc/</a>	<a href="https://beyondnextventures.com/">https://beyondnextventures.com/</a>	<a href="https://monozukuri.vc/ja/">https://monozukuri.vc/ja/</a>
VCの概要	JMTCキャピタルは、ファブレス機能材料メーカーである日本材料技研を親会社とするベンチャーキャピタルです。化学・素材企業を共同出資者とする複数のファンドを通じて、ハードテック／ヘルスケア／マテリアルテックスタートアップの成長を支援しています。	「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」を理念として米国・イスラエル・日本で企業育成を行うVC。創設者は1980年代より米国でベンチャーキャピタリストとして活動している原丈人。本社は神奈川県横浜市。	DRONE FUNDはドローン・エアモビリティ前提社会の実現を目的として国内外のドローン・エアモビリティ及びその周辺領域の企業に対する出資およびハンズオンを行っています。投資だけでなく、LPを含む事業会社との事業開発の支援や社会受容性の向上を目的とした啓蒙活動、更には公共政策活動に注力しています。	Beyond Next Venturesは、大学や企業などで革新的な技術の開発に取り組む研究者や、技術系スタートアップの起業家と共に、新たな産業の創出に取り組んでおり、出資事業を起点に多角的に事業を展開することで、研究者や起業家の皆様への総合的な支援が可能な独自のエコシステムを構築してまいります。	ハードウェア・スタートアップへの投資と試作・量産化に関する技術コンサルティングを提供しています。2017年に1号ファンド、2021年に2号ファンドを設立しており、これまでに57社(日本27社、米国29社、他1社)に投資しています。また試作・量産化も200件以上の実績があります(2024年3月末)。
属性	事業会社系	独立系	独立系	独立系、大学系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル	プレシード、シード、アーリー	全投資ステージ(プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイター等)	プレシード、シード、アーリー	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	ハードテック／ヘルスケア／マテリアルテックスタートアップ	ヘルスケア領域を重点とするものの、この領域はすそ野が広く、エネルギーや新素材、ビッグデータなど、健康分野への応用が利く技術を幅広く取り扱います。	ドローン・エアモビリティ及びその周辺技術を事業領域とする国内外のスタートアップを対象としており、ドローンとは空を飛ぶものに限らず、陸・海・空のフィールドで自律的に動くロボティクス全般としております。	ディープテックスタートアップ全般領域へのインキュベーション投資。また、国内のみならず、インドをはじめとする海外のスタートアップへの投資にも注力しています。	IoT/DX等のハードウェア関連するスタートアップ。また少量生産に寄与するソフトウェアや材料を含む技術分野のスタートアップ。
1社あたりへの投資金額(目安)	30～100百万円	30～200百万円	10～500百万円	初回投資としては約100百万円、累計で約5～10億円	30～100百万円
リードインベスターのスタンス	運用ファンドにより異なる JMTCハードテック2号/JMTCヘルスケア:基本フォロー JMTCケミカル&マテリアルズ/MMCイノベーション:リードでもフォローでも可	基本的にリードで入ることが多い。	シード、アーリー期の企業に対してはリードインベスターを取り、社外取締役の派遣などを通じて積極的に支援をしていく方針です。一方で、フォロー投資家として支援するケースもあり、柔軟に投資を検討致します。	リードインベスターとしての関与が中心	投資金額の範囲内であればリードも積極的に取りま
投資先への支援内容	経営助言、材料開発支援や量産時における材料選定のサポート、必要に応じてLPとの共同開発等の推進等	取締役やアドバイザーを派遣し、ハンズオン支援を行う。経営全般から、提携先企業紹介、資金調達、経営人材の紹介、海外進出の支援などをアドバイス。	事業開発、メンタリング、ファイナンス、更には公共政策活動など幅広く支援をさせて頂いております。	経営助言、資金調達、経営チームの組成、業務提携支援、販売支援、IPO支援など、出資先の課題解決や価値向上につながる支援を幅広く実施	試作・量産化等のモノづくり支援と事業会社との事業開発支援
ポートフォリオ	WHILL、SEQSENSE、トリプル・ダブリュー・ジャパン、Photo electron Soul、ユニロボット、RapyutaRobotics、エレファンテック、エネコートテクノロジー他	現在運用中の投資事業組合の出資先は24社(2024年8月末時点)、ライフサイエンス領域がほとんどで、シード期の出資が80%以上。	空飛ぶクルマを開発するSkyDrive、小型ドローンを開発するLiberaware、ドローンなどの航空管制技術を扱うトラジェクトリー、高精細なX線検出装置を開発するANSeeNなど	ファンド運用総額は約480億円、出資先は計80社です。出資先はこちら <a href="https://beyondnextventures.com/jp/portfolio/">https://beyondnextventures.com/jp/portfolio/</a>	Mitate Zepto Technica、Waqua、ugo、レボーン、Magic Shields等
Exit実績	なし	現在運用中の投資事業組合では、米国で4社(IPO2社、M&A2社)。グループ会社を含めれば1980年代より多数。主に米国でNasdaq上場やM&Aによるものが多い。	株式会社ACSL(IPO)、株式会社DFARobotics(M&A)、ブルーイノベーション株式会社(IPO)、株式会社Liberaware(IPO)	QDレーザ(IPO)、サスマド(IPO)、Repertoire Genesis(M&A)、Bolt Medical(M&A)、ほか	Mira(Apple買収)
備考					

採択年度	R2	R3	R3	R3	R3
企業名	りそなキャピタル株式会社	ANRI株式会社	インクルージョン・ジャパン株式会社	Gazelle Capital株式会社	Spiral Capital株式会社
HP	<a href="https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/index.html">https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/index.html</a>	<a href="https://anri.vc/">https://anri.vc/</a>	<a href="https://inclusionjapan.com/">https://inclusionjapan.com/</a>	<a href="https://gazellecapital.vc/">https://gazellecapital.vc/</a>	<a href="https://spiral-cap.com/">https://spiral-cap.com/</a>
VCの概要	・りそなグループの傘下企業で設立以来35年以上にわたり株式上場の投資実績を積み上げて参りました。・特にグループ銀行の法人取引先(現在約51万社)や地公体との深いつながりを通じて、投資先へのビジネスの機会の斡旋といった成長支援に注力していただけるよう東京・大阪の両拠点のネットワークを生かしています。	シードステージへの投資に強みを持つ、独立系ベンチャーキャピタルで、インターネット領域を中心に、ディープテック領域や、ライフサイエンス等の投資回収期間が比較的長期な領域やITとの融合領域へも投資をしています。オリジネーションから手掛けるのが特徴です。	ESGにまつわるルール変化を成長の追い風とするベンチャー企業への投資を投資戦略の軸に掲げる。ESG投資の第一人者である夫馬賢治氏を顧問に招聘し、グローバルでの投資機会の探索・実行(例:アフリカ、など)と投資先に対する事業機会のつなぎこみを行っている。国連責任投資原則(PRI)へも署名済み。	デジタル化が遅れている既存産業に変革を起こす 創業期のベンチャー企業の未公開株式を取得し、創業期をサポートして企業価値を高め、イグジットにより利益獲得を目指すファンド。	大企業のオープンイノベーション支援企業である Spiral Innovation Partnersをグループ会社として設立し、スタートアップの事業成長に寄与する大企業との連携サポートを強みとする。また、投資銀行・コンサル・PE・VC・事業会社等、様々なバックグラウンドを有するキャピタリストが所属。
属性	金融機関系	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	アーリー、ミドル、レイター	シード、アーリー	プレシードからアーリー中心	プレシード、シード、アーリー	アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	・独自の価値創出でイノベーションを起こし、成長が期待できる企業への投資を基本とする・業種の制限はなく、情報通信、サービス、製造、卸小売、創薬まで幅広く投資	インターネット領域からディープテック領域、融合領域等	制限なし	農業・林業・漁業などの一次産業、建設業、製造業などの二次産業、不動産や保険、金融、などの三次産業のレガシーな産業に対し、DXを加速する事業やSaaS事業を展開する創業	インターネット・テクノロジー領域全般をカバーしつつ、X-Tech(ネットとリアル融合)を重点テーマとする。投資領域は、「業界変革型ビジネス」と「新産業創出型ビジネス」の2つが主な対象。
1社あたりへの投資金額(目安)	20~500百万円	数千万円から最大20億円まで	50~200百万円	最大500百万円	50~1,000百万円
リードインベスターのスタンス	フォロー投資がメイン	シード、アーリー期においては原則リードインベスターとして支援する方針です。	リードインベスターであることを原則としています。	主にリードで出資。プレシリーズAの場合はフォローで参画。	積極的にリード投資を行うスタンス。特にアーリーステージにおいては、半数以上がリード投資の実績を有する。
投資先への支援内容	①銀行取引(資金調達支援、海外進出支援、内外為決済機能支援、信託機能の提供等)②ビジネスマッチング(販売先、外注先、仕入先、地公体等)③経営支援(助言、予実管理支援等)	資金調達支援、経営支援、CXO採用支援、各種サービスの投資先サポートプラン提供等、必要に応じて可能な限りサポートします。	事業戦略の策定から、営業/マーケティング支援、ユーザー/市場調査、人材採用や育成、資金調達、アライアンスやM&Aなど、幅広く支援します。	営業支援 拡販活動、資金調達、弊社が運営するYouTubeチャンネルを活用した広報PR支援などを出資先に行く。また事業会社と連携し、50社を超えるサービスの無償、割引プランの提供を行う。	上記の通り、大企業との連携・顧客紹介を強みとする。加えて、アーリー期の企業におけるCFO/CSOロールの提供、CxOの採用支援、マーケティング・PR支援、エグジット戦略策定支援を行う。
ポートフォリオ	下記ご参照下さい。 <a href="https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/trackrecords/portfolio.html">https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/trackrecords/portfolio.html</a>	<a href="https://anri.vc/companies">https://anri.vc/companies</a>	株式会社ゼロボート、株式会社Sustainacraft、株式会社クララオンライン、株式会社Magic Shields(※浜松市の企業)、株式会社ispace、などこれまで累計47社に投資。	1号・2号合計で45社に出資済。2024/09より、3号ファンドを組成しより積極的にスタートアップ出資を行う予定。	X-Techをテーマに掲げ、これまで累計約50社に投資実行。うち、約7割程度がアーリーステージでの投資である。
Exit実績	下記ご参照下さい。 <a href="https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/trackrecords/ipo.html">https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/trackrecords/ipo.html</a>	UUUM、ラクスル、クラウドワークス、デジタリフト、ペロリ、コネヒト、Sapeet等	株式会社ispace、株式会社ココナラ、など	1社M&A実績あり	これまでに4社のExit実績を有する。具体的には、rakumo社、エネチェンジ社、ビジョナル(旧ビズリーチ)社の3社がIPO、アイデンティティ社がM&AによるExitを迎えている。
備考				2人組合型のCVCファンドを別途運用中。起案段階でも構いません。ぜひ気軽にご連絡をいただけますと幸いです。お話しさせていただけることを大変楽しみにしております!	セイノーをアンカーLPとする物流領域特化型ファンド Logistics Innovation Fundも運営しており、上記の投資領域に加えて、物流周辺領域は積極的に投資を行っている。

採択年度	R3	R3	R3	R3	R3
企業名	ゼロイチキャピタル合同会社	株式会社ゼロワンブースターキャピタル	W株式会社	株式会社TNPスレッズオブライト	株式会社DGインキュベーション
HP	<a href="https://zeroichicapital.com/">https://zeroichicapital.com/</a>	<a href="https://01booster.co.jp/program/01capital">https://01booster.co.jp/program/01capital</a>	<a href="https://w-inc.vc/">https://w-inc.vc/</a>	<a href="https://www.tnp-g.jp/overview/threads/">https://www.tnp-g.jp/overview/threads/</a>	<a href="https://dgincubation.com/">https://dgincubation.com/</a>
VCの概要	ゼロイチキャピタルは起業家にとって最初の伴走者として、起業前相談・アイディエーション・事業プラン立案・設立手続き・チームアップ・ファイナンス等多岐にわたる領域をサポートし、シリーズAラウンドへの早期到達、そしてその先の成長軌道に乗せることを目指します。	「日本を事業創造できる国にして世界を変える」という企業理念のもと、大手企業とベンチャー企業が相互に補完し合い、イノベーションを加速するコーポレートアクセラレーター・プログラムなどを運営すると共に、理念にそったアーリーステージのスタートアップへの出資を行っています。	2019年に1号ファンドを50億円で組成。コンシューマーインターネット領域を中心とした投資。主にシード、アーリー期の企業に対しリード投資家として投資。	2016年7月にTNPグループとして新たに立ち上げたベンチャーキャピタルです。TNPが構築してきたノウハウとネットワークに更なる専門性を持つメンバーを加え、Society5.0の実現に向けて、革新的技術を活かした新たな市場創出の可能性に資するベンチャー企業等への発掘・支援・育成を行っています。	株式会社デジタルガレージの100%子会社。Onlab採択企業への投資を行う「Onlab・ESG1号ファンド」、横浜銀行とのCVCファンドである「Hamagin DG Innovation Fund」、バイオ・ヘルスケア分野に取り組む企業を支援する「札幌イノベーションファンド」を運営。
属性	独立系	事業会社系	独立系	独立系	事業会社系
主な投資ステージ	プレシード、シード	プレシード、シード、一部ミドル・レイター	シード・アーリー	全般に取り扱いますが、シード、アーリーが多くなっています。	シード、アーリー、ミドル
投資対象領域(業界等)	コロナ禍において起こりつつある人の行動や価値観の変化、SDGs実現に向けた人や企業の意思決定の変化を捉え、社会に変革をもたらすインパクトの大きなテーマに取り組む起業家を積極的に支援します。	領域は限定していません	toCビジネスを中心に投資を実施。中でもライフスタイル、スポーツテック、エンターテインメント領域に注力している。	「Society5.0」に向けた産業のパラダイムシフトに資する企業(バイオ、メディカル、ヘルスケア、ICT、IoT、ソフト、コンテンツ、デバイス、装置・プロセス技術開発、環境関連、エネルギー関連等)	Onlab採択企業、金融機関のオープンイノベーションや地域経済にイノベーションをもたらす企業、ESG・バイオ・ヘルスケアに関連する企業を中心に、今後将来性が見込まれるベンチャー企業が対象。
1社あたりへの投資金額(目安)	30~50百万円	5~30百万円	10~200百万円	160百万円(現行ファンドの平均投資金額。アーリーの初期投資から始めて事業進捗に合わせた継続投資を基本とする)	数百万円~300百万円
リードインバスターのスタンス	原則として外部資金調達の前ラウンドにおけるリード投資家として参画することにこだわり、高いコミットメントで伴走します。	リード・フォローともに可能	基本的にリードで入ることが多い	シード、アーリー段階として経済価値を生むテクノロジー、サイエンスを発掘し、マイルストーンを事業計画に設定して継続投資をしていきます。	シード・アーリーステージでは、リードインバスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインバスターとなるケースあり。
投資先への支援内容	・事業プラン立案 ・週1回経営会議の運用 ・ファイナンス ・オペレーション	01Boosterがもつ事業会社ネットワークを活用した連携を軸に、IT、知財、金融業界で10年以上経験しているメンバーによる専門性を持ったメンタリングにより成長を支援しています。	事業戦略作成のサポートや、弊社が運営するインキュベーション施設で期間限定で貸出、起業後間もない企業をオフィス提供という形でサポート外部のコンサルティング企業と提携しUI/UX勉強会等を実施	シード、アーリーのテクノロジー、サイエンスが、経済価値を生み出すための仮説、検証のための資金供給を含めた支援を実施、企業価値の極大化のために大企業等との協業を含めた育成システムで成長支援を行います。	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。
ポートフォリオ	現在9社に投資実行済 ・PaleBlue(超小型衛星用エンジン開発、東大発ベンチャー) ・Opt Fit(施設内の危険検知AI開発、名古屋発ベンチャー)	<a href="https://01booster.co.jp/program/01capital">https://01booster.co.jp/program/01capital</a>	Creema、モノカブ、ガレージバンク、スナックミー、レントイオ、トリビュー、GO TODAY SHAIRESALON	(新設のためなし)	<a href="https://dgincubation.com/portfolio/">https://dgincubation.com/portfolio/</a>
Exit実績	なし	<a href="https://01booster.co.jp/program/01capital">https://01booster.co.jp/program/01capital</a>	Creema、モノカブ	(TNPグループの既存ファンドから)ダブルスコープ、アイキューブドシステムズ、筑波精工、STG、シンバイオ製薬	Onlab・ESG1号ファンドではLAMILA(M&A)、ODD FUTURE(M&A)、Hamagin DG Innovation Fundではマサポ(IPO)など
備考	2021年6月に新規設立				

採択年度	R3	R3	R3	R3	R3
企業名	株式会社DGベンチャーズ	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ	ブルー・マーリン・パートナーズ株式会社	マネックスベンチャーズ株式会社
HP	<a href="https://dgventures.com/">https://dgventures.com/</a>	<a href="https://betavc.jp/">https://betavc.jp/</a>	<a href="https://www.fti-jp.com/">https://www.fti-jp.com/</a>	<a href="http://www.bluemarl.in">http://www.bluemarl.in</a>	<a href="http://www.monexventures.com/">http://www.monexventures.com/</a>
VCの概要	デジタルガレージグループの投資事業を担う子会社として、インターネット分野においてグローバルに活躍する起業家を支援しています。グループの様々な事業とのシナジー効果を期待できるスタートアップ企業を対象に、投資だけでなく事業をともに創造するインキュベーターとして投資事業を行っております。	ベータ・ベンチャーキャピタルは、地域にこだわった投資を行うベンチャーキャピタルです。福岡から、九州を始めとした若いスタートアップ企業へと投資を行い、新産業の創造を促進することによって、地方経済における雇用の多様化やベンチャーエコシステムの活性化を行ってきました。この取組みを他地域にも広げていきます。	ファストトラックイニシアティブは、バイオ・ヘルスケアに特化した独立系VCで、創業前インキュベーション、新ビジネスモデル創出、専門性の高い経営支援に実績を有しております。	当社は「2020～2040年に向けて繁栄する社会的事業の創造」をビジョンに掲げ、超長期の産業の芽を育て次代を拓くことを使命とするベンチャーキャピタルです。メンバーに事業創造のプロフェッショナルを多数擁しており、マーケットの流行や業種・業態を超えた新しいパラダイムの産業にコミットします。	主にシード・アーリーステージのスタートアップへ投資。マネックスグループのCVCとして立ち上げ、現在は外部資金を調達し、VCとしての投資活動を推進
属性	事業会社系	独立系	独立系	独立系	金融機関系
主な投資ステージ	シード、アーリー、レイター	プレシード / シード / プレシリーズA / シリーズA	プレシード、シード、アーリー	主にプレシードおよびシード	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	デジタルガレージグループと事業連携可能な企業を中心に、グローバルで投資を行っております。	起業家の市場理解を尊重し、特に設けていません。	バイオテック: 医薬品、医療機器、遺伝子・細胞治療、診断薬・機器、バイオ機器・試薬など ヘルステック: 医療ICT、予防関連、在宅医療関連、流通、食品・栄養など	先端テック、宇宙開発、医療領域を中心としつつ、アニメーション制作事業や劇団、あるいは地域の公共財産に資するインフラ整備や伝統芸能といった文化・産業承継事業などに渡り幅広い業界を投資対象としています。	幅広い業種・業界への投資を実行。特にFintech、PropTech、Insurtechなど金融・不動産領域への投資に強み
1社あたりへの投資金額(目安)	数百万円～300百万円	5～150百万円	50～500百万円程度	およそ10～100百万円	～50百万円
リードインベスターのスタンス	シード・アーリーステージでは、リードインベスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインベスターとなるケースあり。	プレシード/シード期はリード投資が多く、複数ラウンドでの追加投資も実施。フォロー投資も検討が可能です。	多くの案件につきましてリードインベスターとして関わっております。但し、フォローでの投資を行うケースもございます。	状況に応じてリードとしてもフォローとしても入ることが可能です。	ラウンドの調達総額によっては、リードポジションを取る場合あり。基本はフォローポジション
投資先への支援内容	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。	起業家の描く未来を尊重し、それを事業仮説やエクイティストーリーへと落とし込む支援を中心にを行います。そのために必要となる議論の場の提供から顧客紹介、採用支援、調達支援などにも取り組んできました。	専門性高く、粘り強いハンズオン支援が特徴です。経営チームの組成から、R&D戦略・事業戦略・資金調達戦略の立案と実行、事業会社との連携・事業開発など幅広い支援を行っております。	起業家のメンタリング、事業計画・資本政策策定、資金調達、経営戦略策定と実行、ビジネスマッチング支援、多様なポートフォリオ企業との連携等、事業の成長フェーズに合わせ最適な支援を提供します。	定期的なメンタリングの実施による、上場までのエクイティストーリーの構築支援、および資金調達支援等
ポートフォリオ	<a href="https://dgventures.com/portfolio/">https://dgventures.com/portfolio/</a>	年間10件程度の新規投資を実施。九州圏内を中心に投資を行っていますが、域外のスタートアップへの投資実績も増えています。 <a href="https://betavc.jp/companies/">https://betavc.jp/companies/</a>	バイオテック: モジュラス、プレイゾンセラピューティクス、PuRECなど ヘルステック: メンタルヘルステクノロジーズ、ファストドクター、メディフォンなど	ロボティクス(QibiTech)から劇団(ホチキス)、ウェルネスホテルまで、多岐に渡る業種の中で新しいパラダイムの担い手となる事業に出資しています。	HPをご確認ください(累計投資者数は100社超)
Exit実績	Twitter、Facebook、LinkedIn、クラウドワークス、弁護士ドットコムなど、40社以上のExit実績(公開分のみ)。	[IPO]株式会社ヘリオス、Hyuga PrimaryCare株式会社、株式会社QPS研究所 [M&A]福祉ソフト株式会社、ウミーベ株式会社、イジゲングループ株式会社	IPO: モダリス、グリーンペプタイド(現ブライトパスバイオ)、カイオム・バイオサイエンス、セルシード M&A: アクユルナ、ProbeX、医療情報総合研究所	宇宙開発企業のispace: 2023年4月に東京証券取引所グロース市場への上場 ブロックチェーン開発企業のtoposware: 2024年6月にポリゴンラボによる買収	株式会社ユーザベース(TSE3966)、株式会社マネーフォワード(TSE3994)、株式会社ポケットコンシェルジュ、株式会社トレッタキヤッツ、株式会社アルファ
備考				投資を行うにあたって「一貫性があり」「スケール化への意欲を持ち」「学び続ける意欲のある」人物であるかを重視しています。また独自に体系化した再現性ある事業創造の手法を基にハンズオンを行います。	

採択年度	R3	R3	R4	R4	R4
企業名	三菱UFJキャピタル株式会社	ライフタイムベンチャーズ合同会社	愛知キャピタル株式会社	AA ファンド有限責任事業組合	epiST Ventures株式会社
HP	<a href="https://www.mucap.co.jp/">https://www.mucap.co.jp/</a>	<a href="https://lifetime-ventures.com/">https://lifetime-ventures.com/</a>	<a href="https://www.aichibank.co.jp/company/information/1ist/capital/">https://www.aichibank.co.jp/company/information/1ist/capital/</a>	-	<a href="https://epist.ventures">https://epist.ventures</a>
VCの概要	1974年の設立以来、スタートアップに対し一貫して成長資金を供給。三菱UFJキャピタルとして統合された2005年以降、投資件数は累計で約1,700件、投資金額は約1,005億円に至る実績を築いています。国内有数の金融グループであるMUFGの一員として、本邦産業発展への貢献を目指し活動して参ります。	「長く愛され、存在し続ける事業を創出する『才能』に投資する」をミッションとするシードVC。プロダクト未ローンチ段階のプレシード期、共同創業者コミット前のプレチーム期からでも投資し、初期トラクションの形成と次回ラウンドファイナンスの実現に向けたハンズオンでの成長支援を行う。	2022年1月設立の愛知銀行100%子会社のベンチャーキャピタルです。愛知銀行及び中京銀行営業エリアに所在するベンチャーを中心に、業種問わず、幅広いステージを投資対象としています。また、出資後は最寄りの愛知銀行または中京銀行営業店の担当者をお繋ぎし、銀行グループ全体でのハンズオン支援を行っています。	プレシード、シード期のスタートアップをメインターゲットとした、エンジェル投資家2名で立ち上げたVCファンド	epiST Venturesは、「大きな市場に技術で挑むテックスタートアップの成長を支援する」をミッションとし、日本で世界に挑むテックスタートアップの成長を支援します。  事業経験に基づくAIおよびデータサイエンスにおける知見と幅広いネットワークを介した支援が最大の特徴です。
属性	金融機関系	独立系	金融機関系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード期を中心	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	全国40名のキャピタリストが、DX・Tech・Fintech・ライフサイエンス等の先端領域から、モノづくり・生活関連の領域まで、次世代の成長産業を支える投資を精力的に行っています	Health&BioTech, Industry Cloud, Future of Work, Sustainable Living, X-border Japanの5領域	全業種を投資対象としています。投資地域は愛知、岐阜、三重、静岡(愛知銀行及び中京銀行の営業エリア)に限定しておりますが、銀行本体との事業連携を前提に東京本社のベンチャーも投資対象としております。	toCサービスを中心に、インターネット、テクノロジー領域全般	AI/Data Science, GreenTech, Industry4.0(Robotics), DX, HealthTech, MedTech, Privacy/Securityなど
1社あたりへの投資金額(目安)	10百万円～1,000百万円(含む追加投資)	初回投資:プレチーム5百万円、プレシード/シード30-50百万円 追加投資:シリーズA 50-100百万円程度	5～100百万円	5～100百万円	初回 ~50百万円(フォローオンも実施)
リードインバスターのスタンス	幅広い領域で有望スタートアップとの接点を強化、リード投資や早期ステージからの資金供給も含め、各社の成長スピード、事業戦略に応じた形でさまざまなサポートを行って参ります。	プレシード/シードでの初回投資時は原則としてリード投資のみ行う。シリーズAラウンドでもプロラタ～リードにて積極的に追加投資を行う。他投資家の紹介や面談同席も積極的に行う。	フォローが中心ですが、ラウンド調達総額によっては単独出資を行う場合もあります。	プレシード、シード期においては、原則リードインバスター	主にリード投資
投資先への支援内容	それぞれの領域で専門性に秀でたプロフェッショナルが、投資先の事業戦略サポート、オープンイノベーションとの連携を実現することによりスタートアップの成長に向けたより確度の高いハンズオン支援を行っています。	プレチーム期は共同創業者の採用支援、プレシード期はユーザーニーズの検証支援、ポストシード期は初期トラクションを作るレベニューフローの構築支援を主として行う。	愛知銀行及び中京銀行グループのリソースを活用してハンズオン支援を行います。具体的には愛知銀行及び中京銀行取引先とのマッチングや連携している自治体の紹介、融資による資金支援などを実施します。	・フェーズに応じた資金調達支援(資本政策表の策定、投資家提案への同席、投資家紹介)【随時】 ・営業先開拓支援、経営戦略策定支援、採用支援【随時】 ・オフラインでの起業家コミュニティ活動【随時】	Data Driven Innovation支援(データ戦略策定/チーム強化/エビデンス強化やR&Dのための産学連携/データ基盤+ツール整備など)に加えて、資金調達、人材、事業開発の支援を実施
ポートフォリオ	基幹ファンド6本(総額900億円)、ライフサイエンスファンド4本(同500億円)を中心に運用ファンド総額は約1,400億円です。2023年度の投資では、3分の2がシード・アーリーへの投資となりました。	Rehab for JAPAN, IMCF、ウーオ、センセイブレイス、エピグノ、METRICA、Carstay、SPeak、IB、Douzo、KiteRa、Lisa Technologies等	シード～レイターまで幅広く投資。 2023年5月に2号ファンドを立ち上げ。	-	<a href="https://epist.jp/portfolio/">https://epist.jp/portfolio/</a>
Exit実績	これまで920社超のスタートアップのIPOを支援。足元3年(2021年度～2023年度)では、30社の投資先が上場しました。	新設ファンドのため未だなし	IPO:1社	-	M&A 1社
備考	スタートアップ支援に果敢にチャレンジする「やらまいか精神」に共感し、認定VCとして活動しています。グローバル拠点都市「浜松」を盛り上げるため、全力で応援させていただきます！		地域金融機関グループとしてエクイティだけではなく、デット含む銀行取引全般の相談が可能です。	-	投資先のオリゼ社のファンドサポート事業採択を支援させていただきました。 弊社の投資テーゼにフィットしそうでしなればぜひお気軽にご相談ください。 <a href="https://epist.jp/investment/">https://epist.jp/investment/</a>

採択年度	R4	R4	R4	R4	R4
企業名	株式会社MTGVentures	株式会社サイバーエージェント・キャピタル	株式会社サムライインキュベート	株式会社ディープロコア	株式会社Deep30
HP	<a href="https://mtgv.vc/">https://mtgv.vc/</a>	<a href="https://www.cyberagentcapital.com/">https://www.cyberagentcapital.com/</a>	<a href="https://www.samurai-incubate.asia/">https://www.samurai-incubate.asia/</a>	<a href="https://deepcore.jp/">https://deepcore.jp/</a>	<a href="https://deep30.vc/">https://deep30.vc/</a>
VCの概要	2つのファンドを運用。 ①SIXPADやRefaブランドに代表されるMTGグループのCVCファンド。 ②Central Japan Seed fund(CJS)の運営を行う。	2006年の設立以来、アジアを中心に7カ国9拠点にてベンチャーキャピタル事業を展開し、これまでの累計投資社数は300社を超えます。	2008年設立のプレシード〜シードを中心としたアーリーステージフォーカスの独立系VCで日本、イスラエル、アフリカで230社を超える企業へ投資を行なっています。	DEEPCOREは、AIおよび先進的技術分野の企業に特化したベンチャーキャピタルです。投資活動に加え、エンジニアコミュニティ“KERNEL”や、海外進出を見据えるスタートアップ向けプログラム「KERNEL Global Startup Camp」の運営等を通じてスタートアップ支援を行っています。	Deep30投資事業有限責任組合は、ディープラーニングの将来性および日本国内におけるベンチャー育成の重要性に鑑み、将来的に日本の産業競争力の向上につながることを意図し、日本国内のさまざまな大学や研究機関、企業等におけるディープラーニングをはじめとする先端技術による事業創出機会を捉え、投資事業を営む。
属性	事業会社系、独立系	事業会社系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	①アーリー、ミドル、レイター ②プレシード、シード	プレシード、シード、アーリー	プレシード〜アーリー	シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	①美容やウェルネス領域のS-up ②地域課題を解決するソリューションを提供するS-up	インターネット・IT関連領域	IT完結サービスからディープテック領域まで幅広くほぼ全ての業種をカバーしております。	AIおよび先進的技術分野の技術をベースとする領域全般	国内を中心に高いディープラーニングの技術力を持ち、業界に変革を起こせるポテンシャルを持つAIスタートアップ及び、AI技術を用いることで、大きな事業価値の向上が見込めるスタートアップ
1社あたりへの投資金額(目安)	①50百万円〜100百万円 ②5百万円〜30百万円	10〜50百万円	3〜200百万円	10〜200百万円程度(最小5百万円、最大1,000百万円) ※フォローラウンドも含む	数千万円
リードインベスターのスタンス	①フォロー投資中心 ②リード投資中心	初回投資に関しては、原則リードインベスター	リードを中心としながらフォローでの投資検討も可能です。	多くの案件でリードインベスターとして関わり、ハンズオンで支援しています。また、フォローオンも積極的に実施しています。	創業時、もしくはファーストラウンドのリード投資家として入り、経営パートナーとしてハンズオンで支援することが多い。
投資先への支援内容	MTGグループのリソース(ものづくり・マーケティング・知財・経営管理)の提供や経営支援全般(次回資金調達、営業開拓支援、協業支援、戦略支援、人材紹介支援)	担当者およびグロースチームにて幅広くご支援を行っています。戦略、営業、資金調達、技術、組織・採用、PR等、ニーズに応じて随時ご提供しております。	経営支援、ファイナンス支援、大手企業を中心とした営業や連携先のご紹介を中心とした支援を行なっております。	・事業推進:成長戦略・知財戦略・協業推進・海外展開支援 ・人材採用:運営コミュニティ“KERNEL”を活用したエンジニア・経営人材採用支援 ・次回調達ラウンド・Exit支援 ・バックオフィス支援等	・事業戦略、エンジニアリングの観点でのアドバイス ・バックオフィス機能の支援 ・出資先からの要望による取締役などの形で経営への関与
ポートフォリオ	MTGV & CJSの累計投資件数は約60社。	<a href="https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/">https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/</a>	RoomClip、YAMAP、KOMPEITO、MyDearest、リンクパイオ、Morusほか	現在運用中の投資事業組合の出資先(2024年7月末時点):118社 <a href="https://deepcore.jp/investment/">https://deepcore.jp/investment/</a>	<a href="https://deep30.vc/">https://deep30.vc/</a> INVESTMENT参照
Exit実績	GP個人のEXIT実績は累計200億円以上。 ①は2社(株式会社QDレーザー、琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社)。	IPO実績に関しては、こちらに記載 <a href="https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/">https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/</a>	IPO:ポート、エアークローゼット M&A:多数	主なExit(2024年7月末時点): M&A 3社(UsideU、DEVEL、スマイルロボティクス) IPO 1社(ファーストアカウンティング) 他IPO済 1社(MFS)	connectome.design株式会社、ニューラルポケット株式会社、株式会社JDSC、株式会社StatHack
備考	①2019年組入れ開始 ②2022年組入れ開始				

採択年度	R4	R4	R4	R5	R5
企業名	株式会社デライト・ベンチャーズ	NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社	株式会社 ベンチャーラボインベストメント	アーキタイプベンチャーズ合同会社	QBキャピタル合同会社
HP	<a href="https://www.delight-ventures.com/">https://www.delight-ventures.com/</a>	<a href="http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/">http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/</a>	<a href="https://www.venturelaboinvestment.co.jp/">https://www.venturelaboinvestment.co.jp/</a>	<a href="https://archetype.vc/">https://archetype.vc/</a>	<a href="https://qbc.co.jp/">https://qbc.co.jp/</a>
VCの概要	シード～アーリーステージを中心に投資を行う独立系VCファンド。社会課題解決型スタートアップ中心に投資を行っている。事業としては、スタートアップへの投資を行うベンチャー投資事業とスタートアップスタジオを運営するベンチャービルダー事業の2事業を運営	「地域経済」と「金融」にシナジーのあるスタートアップへ投資するCVC、「地域における将来の担い手」に投資する地域VCの2つのベンチャーファンドを運営しております。(CVCについては事業連携を前提としており、地域VCについては岐阜・愛知・三重・浜松エリアを対象に投資しております。)	技術特許評価、事業性評価及びベンチャーファイナンス支援を行う独立系ベンチャーキャピタル	シード/アーリーステージのB2B Tech Startupに特化し、2013年の創業以来、4つのファンドにて計約200億円を運用。 “Entrepreneur First”を使命に、起業家に一番近い存在として資金だけではなくあらゆる付加価値を提供。	QBキャピタルは、QB1号ファンド(約30億円)、2号ファンド総額(約70億円)を組成し、大学発、リアルテック系スタートアップに投資・成長支援を行うことにより、東京一極集中から脱却し、大学の「知」を活用した地域発イノベーションの創出を目指し活動しております。
属性	独立系	金融機関係	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード～アーリー中心	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイターに至るすべてのステージが投資対象	シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	下記領域を中心に、社会課題解決型スタートアップ全般へ投資 -情報の非対称性を解消するビジネス -社会生産性を劇的に改善するビジネス -社会の持続性(サステナビリティ)に直接貢献するビジネス	特定のテーマは定めておらず、全領域が投資対象	ものづくり分野から医療・バイオ、フィンテック、WEB 3.0領域まで幅広く投資	B2B Tech全般に幅広く投資。投資実績としては、AI、SaaS、ビジネスツール、HR、ヘルスケア、宇宙、業界特化、サステナビリティ、サーキュラーエコノミー、ディープテックなどがあります。	バイオ・医療機器、素材・ナノテク、情報通信・ソフトウェア、環境エネルギー、デジタルコンテンツ、医療・健康維持サービスその他大学発技術が強みを持つ事業分野
1社あたりへの投資金額(目安)	数百万円～500百万円(初回投資)	5～100百万円	数百万円～数億円まで各成長ステージに応じ投資支援を実施	初回投資で数千万円～数億円、その後のフォローオン投資も含めて最大10億円の出資が可能。	10百万円～500 百万円
リードインバスターのスタンス	状況・起業家の要望等に応じてリード・フォロー両方で対応可能	フォロー投資がメイン	シード・アーリー期における投資ではリードポジションを取る場合もあるが、基本はフォローポジションが中心	リード、フォローのこだわりはないものの、リードで出資させていただくことが多くなっています。	基本的にリード投資を中心に投資活動を行なっています。
投資先への支援内容	資金調達・資本政策、グローバル展開、人材採用、組織設計、PR支援等	経営的な支援のほかに、十六フィナンシャルグループの強みを生かし、営業支援を積極的に実施。また、事業連携による地方展開の戦略サポートを行います。	公認会計士資格を有するファンドマネージャーと専門性に精通した専門家からなるハンズオンチームで成長を支援	各ステージにおいて経営者に寄り添いながら、経営視点で必要な支援を柔軟に提供。特に、アーリー期の顧客開拓支援、ミドル期のグロース支援、組織支援、レイター期のExit戦略支援など。	・取締役派遣 ・販路、連携大学の紹介 ・専門家等の紹介 ・資金調達のサポートなど
ポートフォリオ	<a href="https://www.delight-ventures.com/portfolio">https://www.delight-ventures.com/portfolio</a>	<a href="http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/portfolio.html">http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/portfolio.html</a>	すでに50社以上に投資実行済み。(例) SPLYZA(浜松市)、シルバコンパス(浜松市)、bitFlyer(東京)、Terra Drone(東京)、テコテック(東京)、テックオーシャン(東京)等	リンク先に掲載しております <a href="https://archetype.vc/#top-companies">https://archetype.vc/#top-companies</a>	QB1号ファンドで25社、QB2号ファンドで24社、大学発、リアルテック系を中心に投資を行なっています。
Exit実績	M&A1社	非公開	サイバーダイン、Clio、One Tap BUY、ENECHANGE、div、Global Style、クリングルファーマ、INFORICH、ジンジブ、ハッチ・ワーク等	IPOとしてはAbeja、Data Section、M&AとしてはSmart Camp、ExMedio、Auroroなど	九州大学発スタートアップ「サイフューズ」が、2022年12月に東証グロース市場
備考	2023年7月に2号ファンドを約150億円でファーストクローズ		当社では、mRNA関連バイオメディカルスタートアップベンチャーを支援するCVCファンドや複数の金融機関係CVCファンドを運営		大学の技術シーズ段階から事業化、起業化についてアドバイスをさせていただいていますので、お気軽にご相談ください。

採択年度	R5	R5	R5	R5	R5
企業名	クオインタムリーベンチャーズ株式会社	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社先端技術共創機構	千葉道場株式会社	農林中金キャピタル株式会社
HP	<a href="https://qxlv.jp/">https://qxlv.jp/</a>	<a href="https://www.globiscapital.co.jp/ja/">https://www.globiscapital.co.jp/ja/</a>	<a href="https://igpi-atac.co.jp/">https://igpi-atac.co.jp/</a>	<a href="https://chiba-dojo.jp/1">https://chiba-dojo.jp/1</a>	<a href="https://www.nc-cap.co.jp/">https://www.nc-cap.co.jp/</a>
VCの概要	シードステージに特化したベンチャーキャピタルとして、創業期からのハンズオン支援を実施。起業前から相談、設立関連のサポート、エンジニアリング支援(テックメンタリング)など、幅広いサポートが特徴。	グロービス・キャピタル・パートナーズはリードインベスターとして企業の成長のために必要となる「ヒト(人材)」「カネ(資金)」「チエ(経営戦略)」の3方向から総合的に投資先を支援する日本初の独立系ベンチャーキャピタルです。	当社は大学や研究機関が有する有望な先端技術を探し、その社会実装を支援すべく活動しており、投資だけでなく、自ら事業化・経営を行っている。これまで東京大学や東京工業大学、産業技術総合研究所をはじめ、多くの大学・研究機関と技術インキュベーション協定を締結するなど、ネットワークを順次強化・拡大している	千葉道場ファンドは、千葉道場から生まれたコミュニティ・ベンチャーキャピタルとして設立されました。ファンド運用総額は約120億円となっており、主にシード・アーリーまたはレイターのスタートアップに投資実行しています。運営メンバーの約半数に起業家経験があるため、起業家目線に立った親身なサポートが特徴です。	農林中金キャピタル株式会社は、農林中央金庫の投資専門子会社としてJAグループのCVCである農林中金キャピタル戦略協創ファンドを運営しております。JAグループのオープンイノベーションラボであるAgVenture Labとも連携しながら、スタートアップ投資を行っております。
属性	独立系	独立系	事業会社系	独立系	金融機関系
主な投資ステージ	プレシード、シード(PreAまで)	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー、レイター	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	IT、テクノロジー(技術)をベースとしたスタートアップ企業に対し、ToB,ToC領域問わず幅広く出資	IT関連、ヘルスケア、ディープテック等ポテンシャルの高いテーマに投資をしています。	対象業種の限定はせず、半導体、素材、バイオサイエンスなど幅広く検討	特定のテーマは定めておらず、IT・インターネット全領域が投資対象	アグリ・フードテック、フィンテック、クライメイトテック、ライフテックなどJAグループと関連する領域全て
1社あたりへの投資金額(目安)	10~100百万円	数千円~25億円(初回投資時)	~100百万円程度(フォローオン投資額含む)	数千円から最大3億円まで	50~1,000百万円
リードインベスターのスタンス	原則リード出資	リードインベスターとしてハンズオン支援を行う方針です。	原則としてリード投資だが、案件に応じて柔軟に検討	シード、アーリー期においては主にリード投資が中心ですが、特段のこだわりはなく、フォロー投資も可能です。	リードインベスター・フォロワー問わず。
投資先への支援内容	①週次~月次での定例ミーティングを実施し、事業開発支援・プロダクト開発支援・次回資金調達支援 ②非常勤エンジニアによる技術開発支援(テックメンタリング)	ヒト(社外取締役としての経営参画や採用支援等)、カネ(成長資金)、チエ(経営ノウハウ、経営課題の解決支援)を全面的に提供し、バリューアッドチームと事業と組織両面で戦略・実行レイヤーを支援します。	研究者との共同創業者型案件については、弊社が経営者も拠出し、バックオフィスを含む経営全般を推進。それ以外の投資についても、起業家メンタリング、バックオフィス支援、知財支援など、各種実務サポートを提供	千葉道場はスタートアップ経営者が本音で語り合い、学び合い、切磋琢磨するコミュニティを提供しつつ、必要に応じて、資金調達支援から経営支援等のサポートを行います。	①農林中央金庫や全農などを含むJAグループアセットを使ったPoCの実施 ②一次産業や行政との連携 ③JAグループの取引先のご紹介 ④AgVenture Labのネットワーク活用
ポートフォリオ	プレシード、シード中心に30社超リード出資 <a href="https://qxlv.jp/portfolio">https://qxlv.jp/portfolio</a>	<a href="https://www.globiscapital.co.jp/ja/portfolio/">https://www.globiscapital.co.jp/ja/portfolio/</a>	共同創業者案件、プレシード案件を中心に15件強	<a href="https://chiba-dojo.jp/1-3">https://chiba-dojo.jp/1-3</a>	当ファンドは新設ですが、農林中央金庫のオープンイノベーションの取組の中で、複数企業・ファンドに投資しております。(以下参照) <a href="https://agventurelab.or.jp/news/nscf/">https://agventurelab.or.jp/news/nscf/</a>
Exit実績	2社(非公開)	IPO実績は39社。メルカリ、ビジョナル、メドレー、フォトシンス、ヤプリなど。	なし	SPACEMARKET, Neural Pocket, WealthNavi, Cover, Aidemy等	なし
備考					

採択年度	R5	R5	R5	R5	R6
企業名	HAKOBUNE株式会社	マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社	株式会社mint	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社	AA ファンド2号有限責任事業組合
HP	<a href="https://www.hkbn.vc/">https://www.hkbn.vc/</a>	<a href="https://www.hirac.co.jp/">https://www.hirac.co.jp/</a>	<a href="https://mint-vc.com/">https://mint-vc.com/</a>	<a href="https://www.rheos.jp/corporate/capital-partners.html">https://www.rheos.jp/corporate/capital-partners.html</a>	—
VCの概要	異端児・はみ出し者へ初期投資を行う独立系ベンチャーキャピタルです。プレシード、シード期の大人起業家に積極的に投資をします。	株式会社マネーフォワードのVCとして、2020年6月に「HIRAC FUND 1号」を組成。「アントレプレナーファンド」というテーマのもと、弊社パートナー自身の起業・事業成長や資金調達経験をもとに、投資先起業家を支援。2022年12月に「HIRAC FUND2号」を組成。	当ファンドは、プレシード期のスタートアップ企業に対し、追加投資を含めて1,000万円～3億円程度の出資を予定しています。起業を検討・予定されている方向けのオフィス支援/起業家コミュニティ「FLAP」、などを通じた創業支援を行なっています。	投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社が、「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念の更なる追求のため、上場株式の運用から未公開株式へも事業範囲を拡大し、2021年にベンチャー企業への出資等を目的にベンチャーキャピタル子会社として設立。	プレシード、シード期のスタートアップをメインターゲットとした、エンジェル投資家が立ち上げたエンジェルファンド
属性	独立系	事業会社系	独立系	金融機関係	独立系
主な投資ステージ	プレシード、シード	シードからアーリーステージの企業への投資が基本方針。ミドル～レイターステージの企業への投資も検討可能。	プレシード	シード、アーリー中心	プレシード、シード期を中心
投資対象領域(業界等)	バイオを除く全業種を投資対象としています	伝統産業×Tech(金融、不動産、物流、人材、旅行、医療、農業等)、IT(ペイメント、コマース、メディアエンタメ等)の領域、Web3、AI、VR/AR等、幅広い領域。	事業領域にはこだわらず、日本を中心とするプレシード期のスタートアップが対象となります。	制限は無いが、次の4テーマが主軸 「ものづくり技術」「デジタル」「ディープテック」「カーブアウト」	toCサービスを中心に、インターネット、テクノロジー領域全般
1社あたりへの投資金額(目安)	10～50百万円	30～300百万円	追加出資も含めて30～300百万円	5～50百万円	5～100百万円
リードインバスターのスタンス	シード期においては基本的にリード投資。フォロー投資も可。	リード、フォロー対応可能	リード出資を中心的に行なっています。	状況に応じてリード、フォロー対応可能	プレシード、シード期においては、原則リードインバスター
投資先への支援内容	月1～2回のメンタリングを通じた事業の壁打ち、顧客支援、採用支援などハンズオン支援を実施。投資先のニーズに合わせて柔軟に支援内容を設計しています。	ファイナンス支援、販路拡大支援、人材採用と組織強化の支援、起業家育成とネットワーク構築支援、広報支援	起業家同士・先輩経営者・各分野のプロフェッショナルのコミュニティを通じた、創業支援や、シリーズA調達に向けたマイルストーン策定及び、投資家めぐりのサポートなど。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営支援</li> <li>■ 事業開発支援</li> <li>■ 組織開発支援</li> <li>■ 資金調達支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェーズに応じた資金調達支援(資本政策表の策定、投資家提案への同席、投資家紹介)【随時】</li> <li>・営業先開拓支援、経営戦略策定支援、採用支援【随時】</li> <li>・オフラインでの起業家コミュニティ活動【随時】</li> </ul>
ポートフォリオ	エアドア・ディッシュウィル・EuphoPia・Herazika・KEEN・datagusto・渋谷ブレンドグリーンエナジー・エイトス・Lexi・oshimo・Virtualize・HANATABA	<a href="https://www.hirac.co.jp/portfolio">https://www.hirac.co.jp/portfolio</a>	株式会社BALLAS、SOUNDRAW株式会社、SHE株式会社、株式会社TENTIAL、Synflux株式会社	<a href="https://www.rheos.jp/corporate/capitalpartners/news/index.html">https://www.rheos.jp/corporate/capitalpartners/news/index.html</a>	—
Exit実績	新設のためございません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社トリドリ(22年12月上場)</li> <li>・株式会社GENDA(2023年7月上場)</li> </ul>	カバー株式会社	1号ファンド設立直後のためExit実績なし(2023年8月末時点)	—
備考		2号ファンドでは、全国各地の地方銀行や事業会社からLP出資をいただいております。		「ものづくり」に関わるすべての産業の付加価値向上に寄与する、技術と事業推進力のある経営者がリードするベンチャー企業への投資を通じて、「地球に優しい」「人に優しい」の実現を目指しております。	—

採択年度	R6	R6	R6	R6	R6
企業名	イーストベンチャーズ株式会社	アニマルスピリッツ合同会社	丸紅ベンチャーズ株式会社	株式会社マーキュリアインベストメント	ザシードキャピタル株式会社
HP	<a href="https://east.vc/">https://east.vc/</a>	<a href="https://animalspirits.jp/">https://animalspirits.jp/</a>	<a href="https://www.marubeni-ventures.com/">https://www.marubeni-ventures.com/</a>	<a href="https://mercuria-ventures.com/">https://mercuria-ventures.com/</a>	<a href="https://theseed.vc/">https://theseed.vc/</a>
VCの概要	10年以上に渡って日本のスタートアップシーンを牽引してきた独立系ベンチャーキャピタル。国内トップクラスの圧倒的な投資社数、投資ペースを誇り、アクティブな活動を続けている。	アニマルスピリッツは、シード期のスタートアップや上場企業といった、異なるフェイズの企業経営を担った当事者としての視点を活かし、「事業家目線の投資家」としてスタートアップの成長を支援するファンドです。シード・アーリーステージの、「未来世代のための社会変革」に資する領域に投資しています。	丸紅ベンチャーズ株式会社は、総合社員の丸紅が運営するコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)です。2019年に設立され、アーリーステージからレイターステージまで、グローバルな投資活動を行っています。	当社は日本政策投資銀行が中心となり2005年に設立されました。「クロスボーダー投資」をメインコンセプトに、時々のマクロ環境に応じたマルチストラテジーの投資戦略を展開しています。投資戦略の一つに「ベンチャー投資戦略」を掲げ、社会課題の解決を目指した2つのベンチャーキャピタルファンドを運営しています。	THE SEEDはプレシードおよびシード段階でリード投資を行うファンドで、東京、大阪、京都に拠点を持っています。京都大学との共同研究や大阪大学共創機構など教育機関との連携を通じて、創業を支援しています。
属性	独立系	独立系	事業会社系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー	シード、アーリー	アーリー、ミドル、レイター	アーリー以降	プレシード、シード
投資対象領域(業界等)	インターネット領域を中心に幅広く	「未来世代のための社会変革」に繋がるスタートアップ ・国を守る:DX、AI、ロボット、ヘルスケア 等 ・地球を保つ:Climate Tech 等 ・フロンティアを拓く:宇宙開発、生成AI 等	ウエットラボ系のバイオベンチャーを除く全領域	物流・サプライチェーン領域 当該領域に転用可能なサービスを提供する企業や業界に資するサービスを提供する企業も投資対象とします	投資対象は幅広く行っており、創業期であれば領域は絞っていません。これまでに飲食店DXの会社や、農業資材の研究開発、ECサービスなど幅広く投資しています。
1社あたりへの投資金額(目安)	数百万から300万円	20~500百万円	100~500百万円	10~300百万円	初回投資2,000万円前後 追加投資での累計1~2億円ほど
リードインベスターのスタンス	リードでの投資が多い	リード/コリード/フォロワー/セカンダリーいずれの場合も可能です	リード投資を前提としつつ、フォロワーでの参画も可能です	リード、フォロワーのこだわりはありません	基本リード投資のみ
投資先への支援内容	基本的には「ハンズオフ」のスタンス。起業家の要望にフレキシブルに対応。先輩起業家によるサポートやネットワークも活かせ、渋谷、六本木に投資先向けシェアオフィスがあり切磋琢磨できる環境も構築。	ご投資先からのリクエストに応じて事業戦略、資金調達(エクイティストーリー構築支援、投資家紹介、追加出資等)、顧客開拓、人材採用(CxOクラスの人材の紹介等)等のご支援をいたします。	取締役への参画等を通じた経営支援、丸紅グループを含む国内外のお取引先との橋渡しなどを行います	LP投資家である事業会社等の連携 戦略株主(DBJ、伊藤忠商事、三井住友信託)との連携 マーキュリアのリソースを活用した経営支援	資金調達時に3つの支援をしています。 ①事業計画のディスカッション:投資家向けに説明する解像度を高め、資料作成するサポートを行っています。 ②投資家の紹介 ③先輩起業家の紹介
ポートフォリオ	<a href="https://east.vc/portfolios/">https://east.vc/portfolios/</a>	クラッソーネ、B4A、パトーンズ、Degas、Zpeer、将来宇宙輸送システム、Blossom Energy、ミチビク、匠技研工業、Issues、サステナウオーター、RemitAid	15社(2024年8月時点)	<a href="https://mercuria-ventures.com/#portfolio">https://mercuria-ventures.com/#portfolio</a>	New Innovations、AGRI SMILE、デジタルレンピ、キャラクターバンク、Chai、alma、Ryde、NeWalk、ArchiTech、FiT、Arent、ノスラゴス
Exit実績	「メルカリ」「グノシー」「ツクルバ」「BASE」「メドレー」「ユーザーカール」「TWOSTONE&Sons」「ビジョナル」など	1号ファンドのため、まだございません	IPO、M&AによるExit実績は現在ございません	株式会社ハッチワーク、ライフネット生命保険株式会社、ほけんの窓口グループ株式会社、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドなど	IPO:Arent IEO:フィナンシェ M&A:ONZO など
備考	—	—	東海地区では丸紅中部支社(名古屋)、丸紅浜松支店(浜松)及び丸紅静岡支店(静岡)に丸紅グループの国内拠点がございます	2024年4月に物流・サプライチェーン領域に特化したマーキュリア・サプライチェーンファンド(MSCF)を組成しました	2022年から教育機関向けの創業支援連携を関西からスタートし、九州圏の複数大学とも連携をスタートしています。今後は東日本エリアでも拡大を目指しています。

採択年度	R6	R6	R6	R6
企業名	SBIインベストメント株式会社	株式会社環境エネルギー投資	Z Venture Capital株式会社	INNOVATION HAYATE V Capital 投資事業有限責任組合
HP	<a href="https://www.sbinvestment.co.jp/">https://www.sbinvestment.co.jp/</a>	<a href="https://ee-investment.jp/">https://ee-investment.jp/</a>	<a href="https://zvc.vc/">https://zvc.vc/</a>	<a href="https://cvc.innovation.co.jp/">https://cvc.innovation.co.jp/</a>
VCの概要	2015年にFinTechファンド(300億円)、2018年にAI&Blockchainファンド(600億円)、2020年に4+5ファンド(1,000億円)を設立。2023年に最大1,000億円規模のデジタルスペースファンドを設立し投資活動を行っています。	環境エネルギー・モビリティ分野に特化した、日本で唯一の独立系ベンチャーキャピタルです。	LINEヤフーのCVC。東京、ソウル、サンフランシスコを拠点にグローバル展開し、メディア、コマース、フィンテック、その他テクノロジー分野を中心に幅広く投資をおこなう。各キャピタリストの専門知識、およびソフトバンクグループ、LYグループのリソースを活用し、単なる資金提供にとどまらない価値を提供する。	デジタル技術や革新的なビジネスモデルで世の中の『働く』を変えるスタートアップに対して、投資を行っています。イノベーション代表の富田が浜松出身で重点的に静岡県のスタートアップの支援をしていることに加え、ハヤテグループは静岡に球団を保有しており、浜松に根付いたファンドであることも特徴です。
属性	金融機関系	独立系	事業会社系	事業会社系
主な投資ステージ	全てのステージ	シード、アーリー、ミドル、レイター	全投資ステージ(プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイター等)	シード・アーリー中心にレイターまで投資
投資対象領域(業界等)	全ての業種	環境・エネルギー、モビリティ領域	メディア・コマース・フィテック、その他テクノロジー関連分野(AI、IoT、SaaS等)を中心としつつ、これらに限定することなく幅広い分野での投資を検討。	デジタル技術や革新的なビジネスモデルで世の中の『働く』を変えるスタートアップ
1社あたりへの投資金額(目安)	非公開	数千万～(最大)3,001百万円	5~100百万円	10百万円~200百万円
リードインベスターのスタンス	基本的にリード投資を中心に投資活動を行っています	リードを中心としながらも、フォローでの投資検討も可能です。	状況・起業家の要望等に応じてリード投資、フォロー投資を実施。	リード・フォローともに対応可能
投資先への支援内容	SBIグループが保有する顧客基盤や外部ネットワークを活用したフル・ハンズオン支援を積極的に行っております。またSBIグループによる経営支援も幅広く行っております。	分野特化型VCとして構築してきたネットワークを活用した事業開発サポートや専門人材のアサインにおける支援 交流会を通し環境関連事業を行うスタートアップ間、先輩起業家とのコミュニティの場を提供	IT・コンサル・法務・メディア出身の専門家による、経営戦略から実務改善まで成長段階に合わせた包括的な支援。LINEヤフーグループとの事業連携機会の提供。ビジネスマッチングイベント、勉強会への招待。	・月例メンタリング ・スタートアップ提供サービスの有償利用・フィードバック ・顧客・アライアンス先の紹介、営業同行 ・学びの“場”と“ネットワーク”の提供を目的とする、スタートアップ向け勉強会の開催
ポートフォリオ	<a href="https://www.sbinvestment.co.jp/portfolio/list/">https://www.sbinvestment.co.jp/portfolio/list/</a>	<a href="https://ee-investment.jp/portfolio/">https://ee-investment.jp/portfolio/</a>	<a href="https://zvc.vc/portfolio/">https://zvc.vc/portfolio/</a>	シードからレイターまで計4件投資 (HP参照) <a href="https://cvc.innovation.co.jp/">https://cvc.innovation.co.jp/</a>
Exit実績	代表的な銘柄 Paidy、フリー、Sansan、ANYCOLOR、ビジョナル、タイミー、ウェルснаビ、BASE、ispace、アストロスケールホールディングス	IPOによるExit実績は過去17社、(株)レノバ、(株)ジモティー、レジル(株)、Sansan(株)など。 M&AによるExitは多数。	ラクスル、ヤプリー、ユーザーベース、ビジョナル、Dely、チャットブック、レアジョブ、Photosynth、Kaizen Platform、THECOO、モビリス、モノカブ、など多数	-
備考	-	-	-	イノベーションは公益財団法人静岡イノベーション奨学事業団にて県内の挑戦する学生に奨学金を給付しており、代表の富田はベンチャー支援団体の静岡イノベーションベースを立ち上げて起業家の成長を支援しています。

採択年度	R6	R6
企業名	ユナイテッド株式会社	NES株式会社
HP	<a href="https://united.jp/business/investment/">https://united.jp/business/investment/</a>	<a href="https://nes-vc.com/">https://nes-vc.com/</a>
VCの概要	当社パーパスに基づき、シード/アーリーステージを中心に、社会課題の解決と経済合理性の両立を目指すスタートアップへ出資する「善進投資」と、テクノロジーを活用してイノベーションを起こそうとするスタートアップへ出資する「テック投資」を行っています。	投資事業のみならず、地域における起業家育成事業も行うVCです。 投資領域/業界を限定せず、熱意を持って挑戦している起業家に幅広く投資を行っています。 中長期的視点に立った資金的支援に加え、エンジェル投資家や実務家の知見、機関投資家ネットワークなどを有効活用し、積極的にハンズオンで支援しています。
属性	事業会社系	独立系
主な投資ステージ	オールステージ(プレシードからアーリーが中心)	シード、アーリー期を中心(ミドル、レイターも対応)
投資対象領域(業界等)	善進投資: 日本が世界にさきがけて直面する社会課題「超高齢化社会」「都市集中」「画一的な教育」などを解決する事業領域 テック投資: ネット、IT関連を中心に幅広い事業領域	特定の領域は定めておらず、全ての業種
1社あたりへの投資金額(目安)	1. 善進投資 ・ステージ問わず、50~500百万円程度 2. テック投資 ・プレシード~アーリー: 10~30百万円程度 ・ミドル以降: 30~100百万円程度	5~200百万円
リードインベスターのスタンス	善進投資はリード中心、テック投資はフォロー中心(リード投資も可)で出資しております	シード・アーリー期はリード投資が半数を占めていますが、状況に応じて対応可能です。
投資先への支援内容	事業戦略・デジタルプロモ・人材採用・ファイナンス等が主要テーマ バリューアップ専門部隊(経営・事業経験を持つ人材が所属)が、当社内他事業及び外部パートナーとも連携し経営に深く入り込んだハンズオン支援	エンジェル投資家や実務家の知見を活かした経営アドバイスやVCとしての資金調達サポート、及び機関投資家ネットワークなどを有効活用した営業アライアンス支援
ポートフォリオ	<a href="https://united.jp/business/investment/investee/">https://united.jp/business/investment/investee/</a>	<a href="https://nes-vc.com/portfolio">https://nes-vc.com/portfolio</a>
Exit実績	IPO/メルカリ、ビザスク、エキサイトホールディングス、ワンダープラネット、サイバー・バズ、ソーシャルワイヤーなど	なし
備考		